

## 歴史的景観が残るまちなみを歩いて

堺環濠都市地域は、堺の中心部として室町時代から戦国時代にかけて貿易で栄えた市街地で、数百年以上を経てもなおその当時の町割、まちなみの面影を残している貴重な地域です。

北旅籠町などの北部には戦災を免れた寺院など歴史的建造物が多く残され、伝統的町家が点在し、「秋季堺文化財特別公開」期間中に、修復工事を経てオープンした「堺市立町家歴史館・清学院」を中心とする地域を歩いてみました。

「清学院」は修験道場の寺院としての歴史を持ち、江戸後期から明治初期にかけては「清光堂」の名で寺子屋としてもつかわれ、仏教の普及に生涯をささげた堺市生まれの在家仏教僧・河口慧海もここで学びました。

一般公開では土間、座敷、奥座敷、不動堂（廊下から拝観）の見学が可能です。奥座敷では当時の寺子屋の様子（読み・書き・算盤）が再現されていました。慧海が親戚に贈った自筆和歌入り鉄瓶と絵葉書などの展示は今回が初公開でした。

この界隈の景観は、環濠都市として栄えた歴史を伝えるとともに、現在も都市基盤として活かされていますが、ぼつぼつと洋風の新しい家や駐車場も目立ちます。

堺市では、景観法に基づく景観計画の策定及び堺市景観条例が改正され、12月1日から施行されます。

今後は、時代の変化へ対応した歴史的景観を活かしたまちなみ整備や、魅力あるまちづくりが期待されます。

清学院



## まちづくりの力を磨く！

## 参加者募集中！

▶さかいまちづくり塾「未来に残す地域づくり～人づくり、仕掛けづくりのヒントはここにある！」

【第2回】平成23年12月14日(水) 18:30～20:30

「一乗谷朝倉氏遺跡に見られる地域活性と景観保全活動に学ぶ。」

講師：岸田 清さん(社団法人朝倉氏遺跡保存協会会長)

【第3回】平成24年1月27日(金) 18:30～20:30

「空堀の人と人を結ぶまちなか再生事業に学ぶ。」

講師：六波羅 雅一さん(六波羅真建築研究室代表)

意見交換会：コーディネーター(各回)：大阪府立大学大学院教授・上南木昭春氏

コメンテーター：第2回=大阪ガス(株)近畿圏部顧問・正木啓子氏 第3回=近畿大学専任講師・田中晃代氏

## ▶景観シンポジウム「協働で取り組む景観まちづくり」

日時 平成24年1月15日(日)

13:45～16:45

場所 堺市民会館小ホール

先着 200名(市内在住、在勤、在学者)

参加費無料

**申込** 住所、氏名、電話番号、参加人数を記載し、FAX、メール、郵送、又は電話でお申し込みください。

**申込先** (財)堺市都市整備公社

〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-24 博愛ビル

TEL 222-4050 FAX 222-4063

E-mail: machi@sakai-toshiseibi.or.jp

(プログラム)

基調講演

「歴史文化を活かした景観まちづくり」

講師：宗田 好史氏 京都府立大学准教授

パネルディスカッション

「堺の景観形成で私たちができること」

～百舌鳥古墳群周辺地域・堺環濠都市地域～

コーディネーター

増田 昇氏 大阪府立大学大学院教授

パネリスト

宗田 好史氏 京都府立大学准教授

朝廣 佳子氏 (株)読売奈良ライフ代表取締役社長

奥野 圭作氏 大小路界限『夢』倶楽部代表幹事

間宮 吉彦氏 (株)インフィクス代表取締役社長

荻田 俊昭 堺市建築都市局長

### 編集後記

奈良の朝廣さんのお話を聞き、自分たちが住むまちの見方や物事のとらえ方など、大変参考になり、塾に参加された方々も、人々が協力して行動することで地域が変わるということを知り、一人ひとりが自ら今一歩踏み出す勇気を持っていただけたのではないかと思います。